

## A班

防犯カメラを設置したら

主要道路に街路灯が少ない

青パト隊を増やす

防犯カメラが少ない

暗い場所がある(多い)

学校安全サポーターのユニフォームを作る

各家に防犯カメラがあれば

街路灯が少ない

児童生徒への防犯・安全教室(意識を高める)

下校時のあいさつ、見守り

学校・家庭・地域との連携

子ども見守り隊のユニフォームを作る

子供の自転車事故が常時心配

### 交通安全と防犯

車上狙い・乗り物盗が多い(1/3)

町外から来た方のいたずらがある(ゴミ捨て等)

### 抽象的課題

ボランティア手弁当で活動

自分に被害がないと防犯に対する意識がない

情報モラルについての学習  
犯罪から守る、犯罪に関わらせない教育

町外からの来町者が多い

田園地帯であるから目が届かない場所が多い

防犯団体の横の連絡を強化する

社会の多様化に対する対策(課題)

子供の屋外活動が少ない

ハウスが多い

緊急時メール配信システムを使っての情報の共有化

危険な場所の巡回・点検等

### 具体的対策

# 現状

**子ども**

- 学童見守り隊
- 子ども 110 番との連携
- 小中学校あいさつ運動 (児童の声について)
- 子どもの登下校時の見守り
- 通学の (生徒) 登校の状態
- 児童虐待からの保護

**街頭指導**

- 市の交通安全指導員による巡回啓発
- 防犯活動  
青色回転灯によるパトロール
- 青パト車両 8 台登録車 (許可車両)
- 隊員数 25 名

スクールボランティア同士の情報共有化

# B 班

**設備・環境**

- 防犯灯の整備
- 防犯灯の設置 (管理)
- 駅前の美化運動
- 広報無線と市報による周知

**家庭**

- DV からの保護

# 課題

**設備・施設 (環境)**

防犯灯・街路灯の修理が増加している 修理費大	予算が限られている	県境に属している
無線は聞こえない 市報は見えていない	活動範囲の限定	

**組織**

よそ者に冷たい	熱意に地域差がある	住民と共通意識を持つには?
---------	-----------	---------------

**情報**

- 警察サイドの委員と市サイドの委員の連携
- スクールボランティアと他の組織との連携が必要
- 情報把握が難しい
- 地域コミュニティ不足

**教育**

- 防犯教育の充実  
学校・地域で
- 防犯・防災の意識不足